

MOBILE SUIT VARIATION **MSV**



Mobile Suit Variations Model Series

1/144 Gouf Flying Test Type



<https://gunplastory.com/>



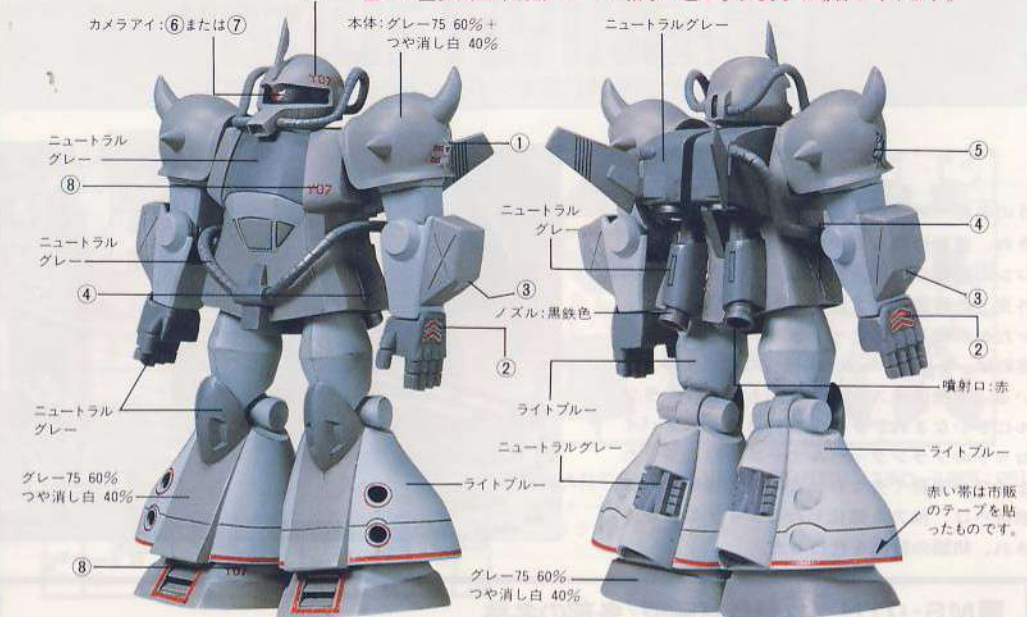
塗装 & マーキング

※完成写真(A)(B)やパッケージのイラストは塗装の参考例です。塗装する時の参考にしてください。この他自由に塗装してください。

★⑧②などの数字はデカールの番号です。■基本色は、ライトブルーと、グレー75につや消し白を混ぜた色、それとニュートラルグレーの3色です。3色を本体に塗りわけたあとシルバーと明灰白色で軽く汚し塗装してあります。

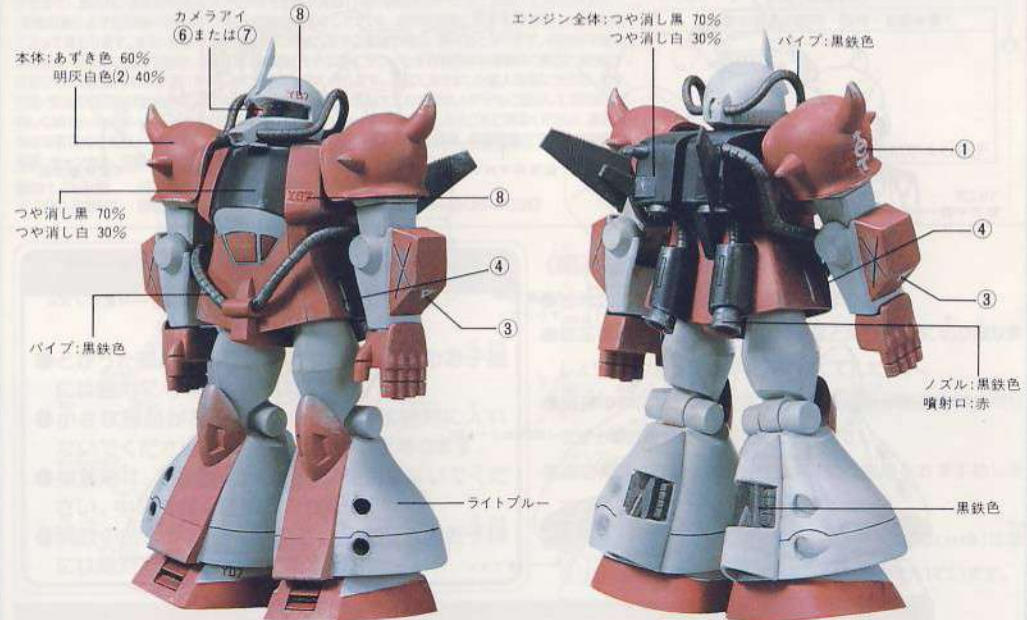
■この塗装図は印刷物のため、指示の色と多少異なる場合があります。

▼完成写真(A)



▼完成写真(B)

■基本色は、あずき色に明灰白色を混ぜた色と、つや消し黒につや消し白を混ぜた色、それとライトブルーの3色です。3色を本体に塗りわけたあとシルバーで軽く汚し塗装してあります。



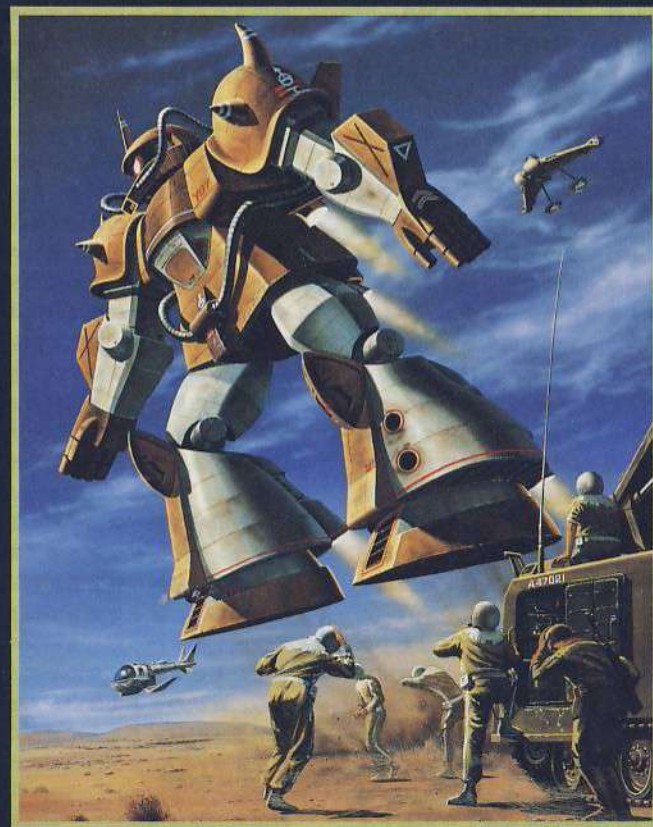
▶イラストの塗装 ■基本色はサンディエローに黄かん色を混ぜた色とライトブルーの2色です。背部や細かいところは自由に塗装してください。(サンディエロー50%+黄かん色50%)(ライトブルー100%)

Scanned by Dalong.net

MOBILE SUIT VARIATION

MS-07H 機動戦士ガンダム GOUF FLYING TEST TYPE

MS-07Hグフ飛行試験型/解説書



1/144 SCALE モビルスーツバリエーション

BANDAI

© 創通・サンライズ

MS-07H GOUF FLYING TEST TYPE

モビルスーツバリエーション
MS-07H グフ飛行試験型

MOBILE SUIT VARIATION

■解説/ストリームベース・小田雅弘

●MS-07H グフ飛行試験型

地上侵襲作戦用として、MS-06Fの改修型MS-06Jを製作したジオン公国ではあったが、汎用性たるMS-06の基本設計には削除不能な部分が多く、地上戦用強化型としてJタイプの全面改修がすすめられた。

60%以上の新造パーツを必要としたこのタイプはナンバーMS-07を与えられ、プロトタイプYMS-07Aとして後のYMS-08タイプと同時進行ですみ、08タイプを退けて続くYMS-07B、MS-07Aと開発を順当に追ったのである。

白兵戦を目的としたMS-07は、ラジエーターのパワーアップを計り、軽量化された分を装甲と固定武装へまわした物である。但しザクによってさえも航空部隊に移動を頼る事しかなかった事は、このMS-07タイプにも言えるため、走行速度の限界は制圧区域の拡大計画にも大きな支障を与える物であった。この異常とも言える破壊力を有するモビルスーツ機動部隊を有効に使用するために、ジオン本国で提案されたのは、無謀とも言うべきモビルスーツ自体の飛行可能化であった。

双方の戦力を投じての決戦フィールドへ持ち込めぬため、ジオン軍はこの計画を承認し、開発班としてアイザック・ウーミヤック大佐を核とするチームを編成し、サイド3の第29コロニー工業区にテストベッドを設置した。飛行能力を得るために幾つかのプランが提出されたが、ホバーポートとの一体化を退げて第一線に浮上したのは、簡易性を追求したロケットバーニアの強化と熱核エンジンの脚部集中化である。すでにMS-07Aを生産配備しはじめていたため、改修用にはYMS-07Aを3機と、YMS-07Bが1機テストセンターより届けられた。

計4機は、腕の兵装等を変更し固定武装としてあらためて両腕に5連装75mmマシンガンが装備された。格闘戦に持ち込むまでもない接近戦を考慮しての事である。ここで明確なのは、モビルスーツの本領たる交換兵装を無視し、プロトタイプとしてその後の生産計画の順位を見越したジオン軍部が、在来のMS部隊の特殊任務用としての評価しか下していなかったのがうかがえる。

改修工作を終えた4機は、突撃機動軍の持つ補給航

路をたどり、3隻のムサイ艦に搭載されて地球まで運ばれた。北米カリフォルニアのシャトルベースに到着したこれらのプロトタイプは、テストセンターを経てアリゾナにあるフラットネイル空軍基地へ送られ、遅れたテストパイロットの到着を待った。

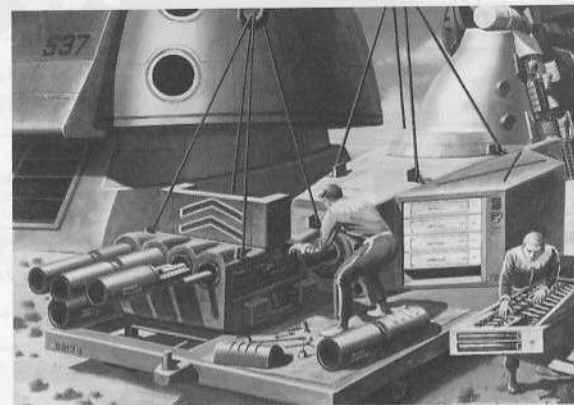
編成されたチームは、本国の航空機部門から北米へ降下した、ピリー＝ウォン＝ダイク大尉をチーフに、計6名となる物であったが、連絡と航路の不手際から到着した4機より2週間を置いてベースへ着任した。調整期間は限られて、書類提出に迫られたため、テスト機には合計8週間が与えられたにすぎない。

開発ナンバーとしてMS-07Hを与えられたプロトタイプは、ジオン軍にはよくありがちなカムフラージュナンバーの機体である。名称の承認を持っても実質的には戦闘能力の低い動力テスト機の域は出ていなかったと言える。前後2週間のラグを置いて、中4週間の内に4機合計で38回の試験飛行が行なわれている。但し低高度のVTOテストが前半を占めており、高度をとった航行テストに至るまでは、10数回に及ぶトラブルが発生した。最も調整の良かった3号機が主なデータ収集を行なったが、大推力故の航続性能の限度を表示し、スタッフ全員を悩ませた。

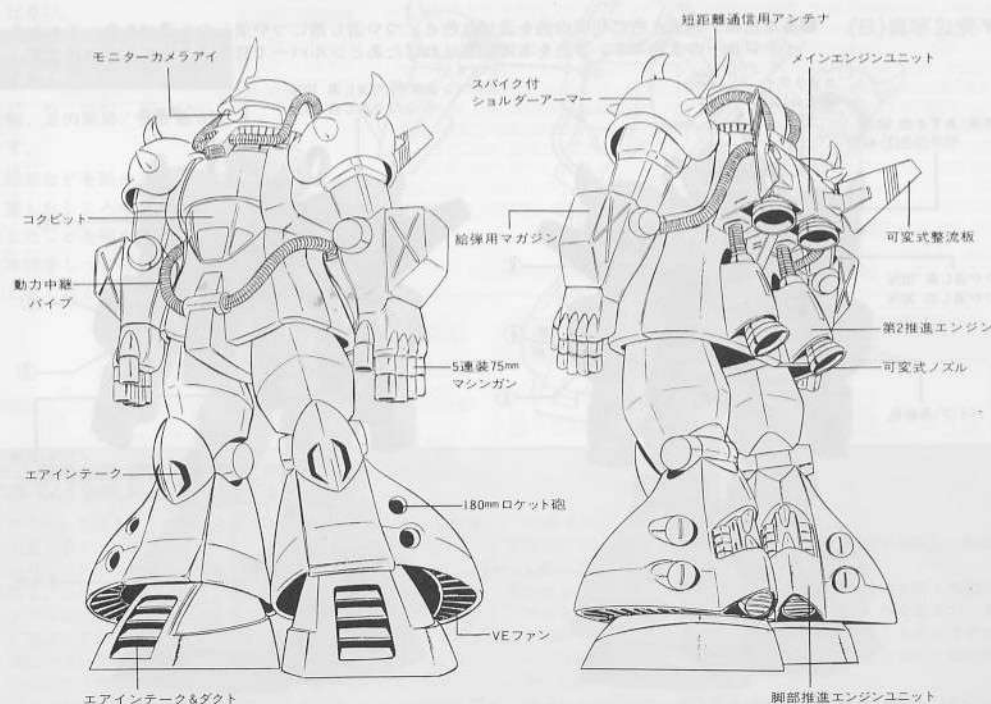
MS-07Hの飛行は、一定の巡航速度を保つ物ではなく、ランディングギアたる「脚」を使った飛び石にも似た物で、純粋に航空機のように飛行可能というわけではなかった。メインエンジンを全開にすれば、それまでに成し得なかったパターンのモビルスーツによる作戦行動をとる事も出来たが、かかる燃料搭載量の問題から、現状のままではいかんともしがたかった。そこでMS-07H-2として背部にドロップタンクをつけたタイプへの改修が行なわれたが、若干の向上にすぎなかったと言える。

計画の期間後の検討で、軍部は縮小化する事で研究続行を認めている。アリゾナに残されたのは、YMS-07Aから改修した3号機と、Bから改修された4号機である。この4号機は、本部の指示に従がい脚部エンジンの換装、腰に75°可動のベントラルフィンを設け、両肩のスパイクアーマーは整流効果向上のため、有翼型に形状変更された。性能向上型としてMS-07H-

4の名称で呼ばれた本機は、滞空時間も延長され、運動性能も良かったが、換装したエンジンの調整は複雑を極めた様である。同機の外見上の特徴は、大型化したフレアや各フィンだが、テストスタートまでに施された制空迷彩は、モビルスーツらしからぬ印象を与えている。同機はテストを続けたものの、トラブルにさいなまれ、テスト10日目にテストパイロットのフランク＝ベルナル少尉を乗せたまま空中爆発で失われた。その後MS-07部隊へは、推力を強化したドグライY Sが配備され、初頭の計画を代行した。



■MS-07H グフ飛行試験型/各部の名称



MOBILE SUIT VARIATION

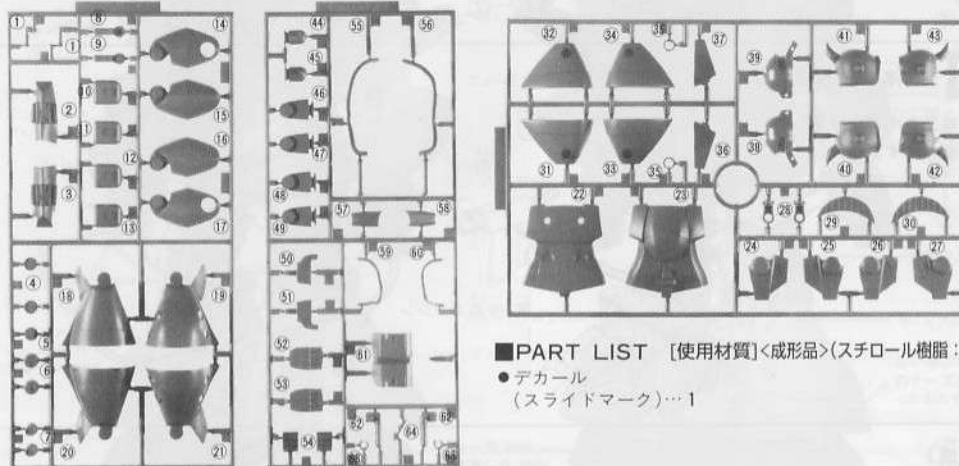
1/144

機動戦士ガンダム

MSV No.9 MS-07H

GOUF FLYING TEST TYPE

■MSバリエーションNo.9 グフ飛行試験型/組立説明図



■PART LIST [使用材質]<成形品>(スチロール樹脂:PS)

●デカール
(スライドマーク)…1

〈お買い上げのお客様へ〉万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした時は部品運搬をご利用ください。代金は、部品代(切り取った1個40円×個数)+郵送料(120円)です。商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記して頂き、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代+送料の料金(100円単位を定額小為替、10円単位を切手)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様の氏名/住所/年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受け付けておりませんので予めご了承ください。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12 TEL054-208-7520

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード 01315

機動戦士ガンダム MSV
1/144 グフ飛行試験型 ★色

必要な部品の記号・番号・数量を書く

●注文された理由(○で囲む)(こわした・なくした)

日中ご連絡可能な電話番号 R1001315 '83.07

注意

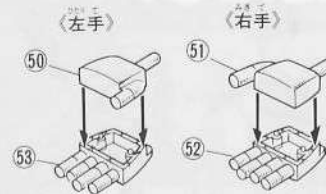
必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 接着剤は、閉めきった室内では使用しないでください。中毒になる危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

このキットには、接着剤が入っておりません。プラスチックモデル専用接着剤を別にお買い求めください。

1

《腕の組み立て①》



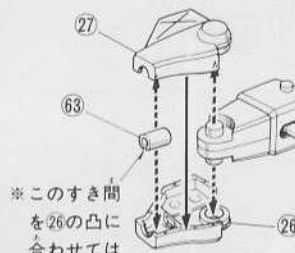
●図のようにして2個組み立てます。

★2個作ります。

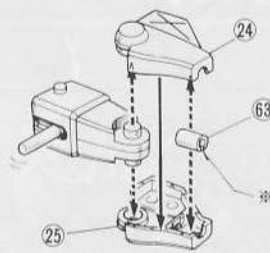
※部品にも番号が入っていますから番号をよくみてください。

2

《腕の組み立て②》



※このすき間を25の凸に合わせてはめこむ。



※このすき間を25の凸に合わせてはめこむ。

●腕をはさんで41を43に接合します。

※部品にも番号が入っていますから番号をみて部品をたしかめてください。

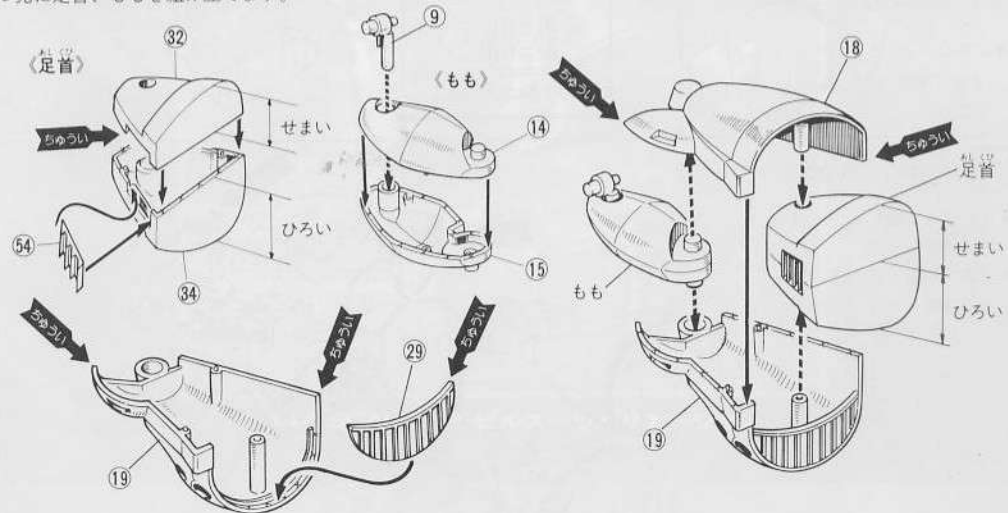
●同じように2個組み立ててください。

3

《右足の組み立て》

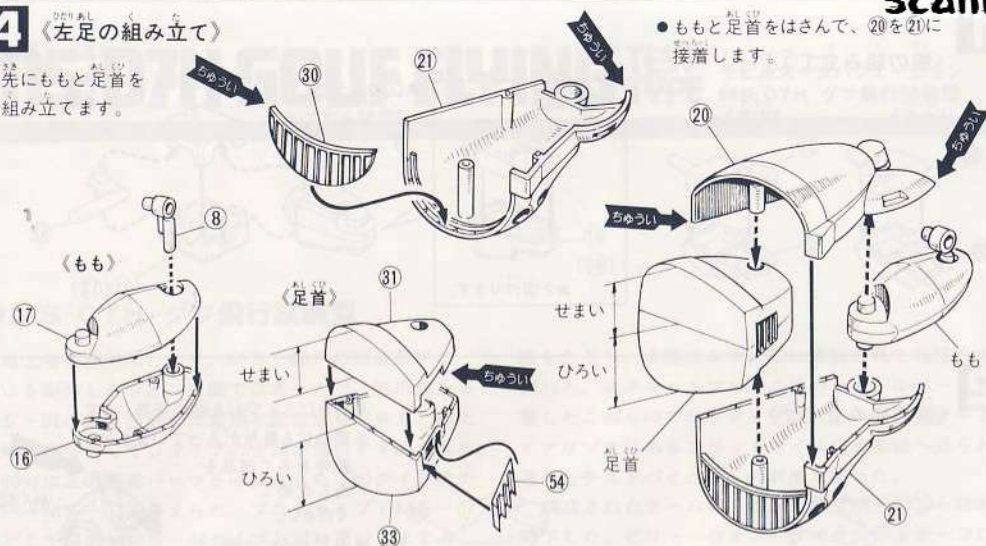
●ももと足首をはさんで18を19に接合します。

●先に足首、ももを組み立てます。

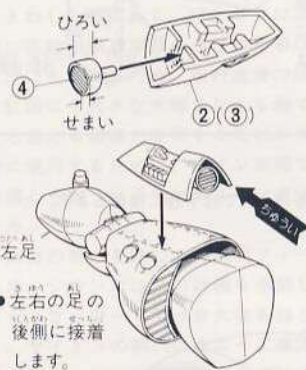


4 《左足の組み立て》

- 先にもと足首を
組み立てます。



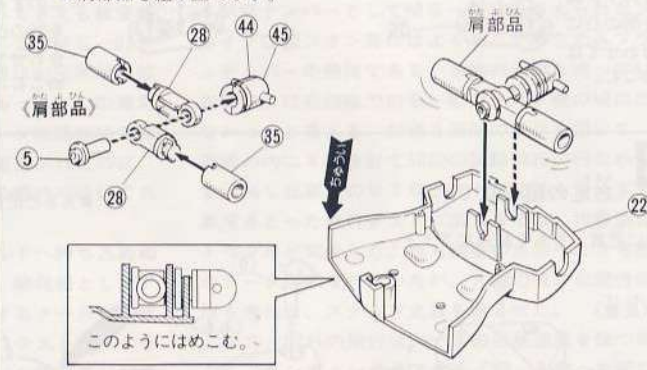
- ④を向きに注意して②(③)
に接着します。
- 2個作ります。



6 《肩部品の取り付け》

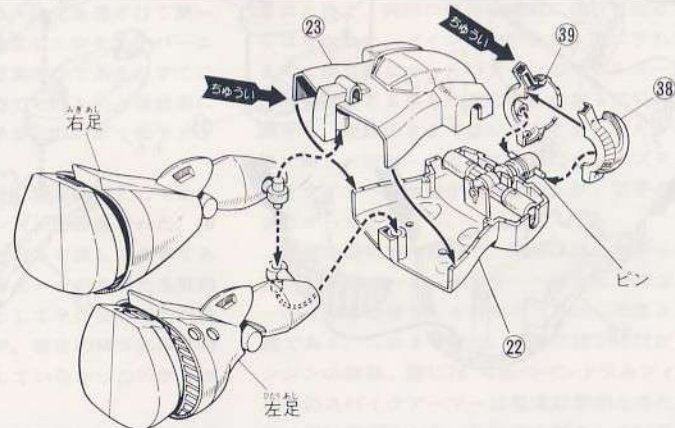
- 先に④⑤に接着します。
- 肩部品を組み立てます。

- 肩部品を②②にはめこみます。



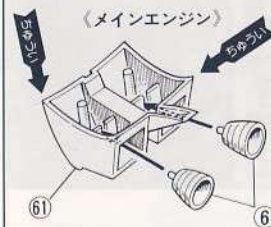
7 《本体の組み立て①》

- 先にピンをはさんで、③⑧を
③⑨に接着します。
- 左右の足をはさんで、②③を
②②に接着します。



8 《メインエンジンの取り付け》

《メインエンジン》

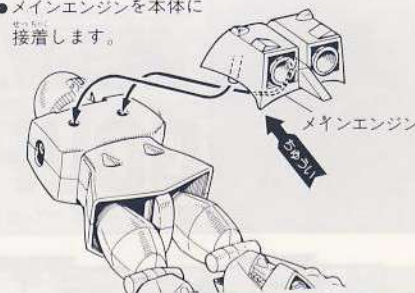


《第2推進エンジン》

- 左右作ります。

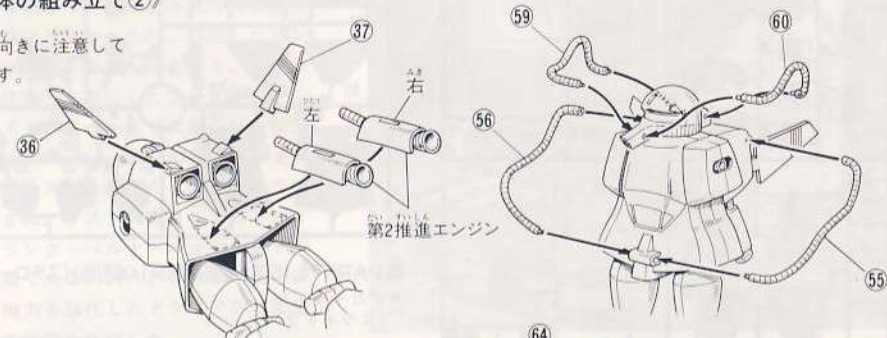


- メインエンジンを本体に
接着します。



9 《本体の組み立て②》

- 各部品を向きに注意して
接着します。



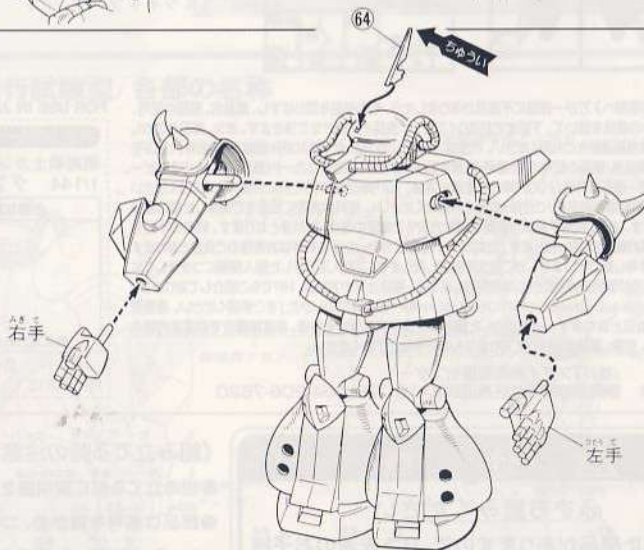
《完成》

- 両腕、両手を取り付けてく
ださい。

※腕には左右の区別はあり
ません。

★腕、足の関節、首が動きま
す。

※関節などを動かす時は、接
着したところが完全に接着
したことを確かめてから、
本体をしっかり持って動か
してください。



デカールの貼り方

- ①デカールを貼る場所、ほこりや汚れ、油気を、ぬらした布
で良くふきとってください。
- ②貼りたいデカールを、ハサミでナイフで切りとります。
- ③貼る場所を確かめてから、ぬるま湯に5秒程つけて引き上げ
タオルなどの上に置きます。あまりながくつけていると、のり
が溶けてデカールが付きにくくなりますので注意してください。
特に小さい文字などはぬるま湯につけたらすぐ引き上げるぐら
いにしてください。(ピンセットを利用するとよいでしょう)
- ④マークを台紙からずらしながら貼ってください。(ピンセットを

利用するとよいでしょう)

- ⑤指先に少しぬるま湯をつけデカールをぬらしながら正しい位置
に貼ってください。
- ⑥やわらかく、よく水気を吸う布でデカールをそっと押え内側の
気泡を押し出しながら水分をとります。デカールを貼る場所
が凸凹していたり曲面になっているところは蒸しタオルでデカ
ールを押えてください。しわになった時はナイフの先で切れ目
を入れてから押えます。
- ⑦貼ったあとはデカールが乾くまでさわらないようにします。